

深川市 防災ガイドブック

●ハザードマップ●

はじめに

風水害

避難の心得

持出・備蓄品

市街地拡大図

避難所等

土砂災害

地震

雪害

保存版
2020年
2月



警戒レベル4で
全員避難

●わが家の防災メモ

※P9-10を確認して書き込みましょう。

わが家の
避難場所

わが家の
集合場所

●家族の連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	メモ (病症・病歴、携帯電話番号、勤務先など)
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
	T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+ / -)	

●困ったときの連絡先

親戚や知人・かかりつけ病院などの連絡先を書いておきましょう!

名前	電話	住所	その他
		〒	
		〒	

●自分と大切な人の命を守るために●

この防災ガイドブックは、水害などの大きな災害のときに、市民一人ひとりが、自らと大切な人の命を守る行動のために作成したものです。

気象現象は今後さらに激甚化し、いつ、どこで災害が発生してもおかしくありません。市では引き続き、避難対策の強化に向け全力で取り組んでまいります。しかし時として、災害のあらゆる面で市民のみなさんの安全と安心に対応することが困難な場合があります。

大切な命を失わないために、災害に関心を持ってください。

市民のみなさんは、避難の呼びかけや、一人では避難が難しい方の援助など、地域のみなさんで助け合い、協力していきましょう。市も全力で、みなさんや地域をサポートします。

内閣府・中央防災会議のワーキンググループの報告書に次のような記述があります。

行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。
行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。
避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。皆さんの命は皆さん自身で守ってください。

市民のみなさんが主体的に避難し、自らの安全を確保することに本冊子が少しでも役立つことを期待しています。

令和2年2月 深川市長 山下貴史

●防災ガイドブック（ハザードマップ）について

今回作成したハザードマップは、石狩川、雨竜川、多度志川、内大部川が氾濫した場合の浸水予想に基づいて、深川市で想定される最大規模の浸水深及び避難場所を示したものです。

想定し得る最大規模の、おおむね1000年に1回起こる大雨が降ったことにより、下記の河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションして作成しています。（したがって常にこのような浸水が起こるというものではありません。）

水害の恐れがあるときには、市から避難情報が発表されますので速やかに避難してください。また、危険を感じたら、避難情報が出ていなくても早めに自主的な避難をしてください。

なお、雨の降り方や土地の状態によっては、この地図で示された浸水想定区域外でも浸水することがありますので十分に注意してください。

洪水だけでなく、他の災害等にも備え、表紙の「わが家の防災メモ」に家族と確認しながら防災情報を書き込み、あなたの家から避難所までの経路を確認するなど、この防災ガイドブックをご家族の安全・安心にお役立てください。

石狩川	石狩川流域の72時間総雨量358mm
雨竜川	雨竜川流域の72時間総雨量361mm
多度志川	多度志川流域の3時間総雨量167mm
内大部川	内大部川流域の1時間総雨量60mm



風水害への備え

●普段からの準備を万全に

災害はいつ起こるか分かりません。いざという時に何の準備もできていないと、命の危機にもつながります。普段から災害への意識を強く持ち、積極的に対策を進めましょう。

ご近所とコミュニケーションを!



- 災害時には近隣の**住民同士の協力**が必要です。ご近所との付き合いの輪を広げ、いざというときに**助け合い**しましょう。

避難路の確認



- 避難場所までの**実際の道順**を確認しましょう。
- **目印**になるものを、おぼえておくとう便利です。

防災訓練に参加する!



- いざというときのために**避難訓練や消火訓練、応急救護訓練**などに参加しましょう。

●風水害から身を守る3つのポイント

1.事前の確認

別図「深川市ハザードマップ」を確認

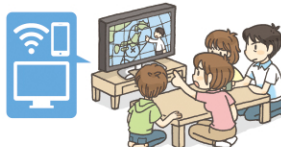
- 洪水が起きた時の浸水状況の確認
- 避難場所や避難路を調べる



2.情報の入手

裏表紙「情報の入手先」を確認

- テレビやラジオ、インターネットで最新の気象情報を入手
- 河川の水位や災害発生情報をインターネットで入手



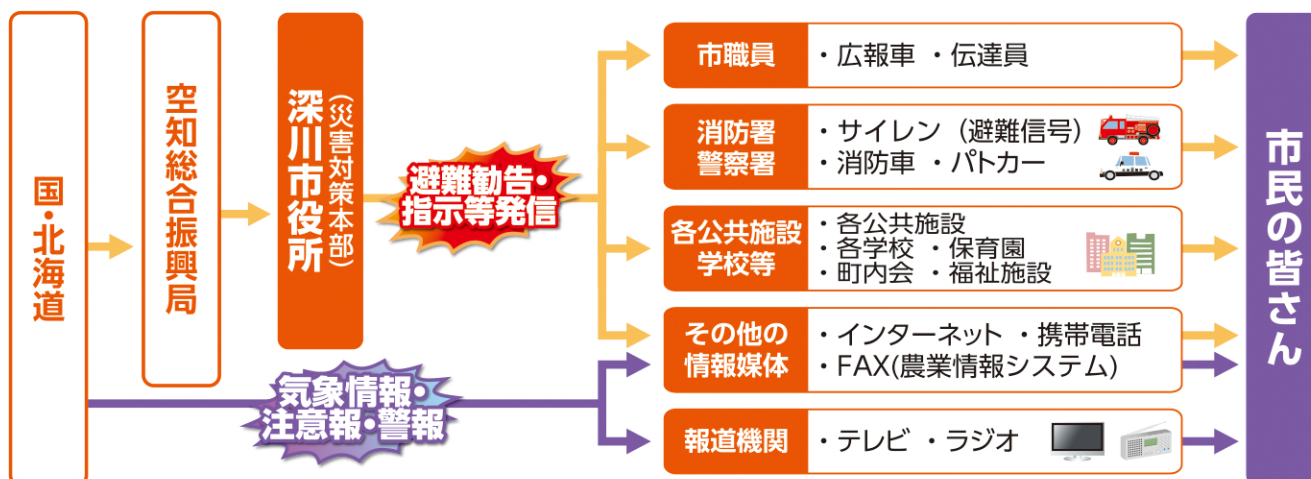
3.早めに避難!

P5「避難の心得」を参照
P9-10「避難所・避難場所一覧」を確認

- 災害が発生する前に、避難所や安全な場所へ自主避難する



●災害情報の伝達経路



はじめに

風水害

避難の心得

持出・備蓄品

市街地拡大図

避難所等

土砂災害

地震

雪害

風水害への備え

●大雨などの警戒レベルに注意しよう

風水害の発生が予想される場合、状況に応じて下記の警戒レベルが発令されます。地域の方々にも声をかけながら、それぞれの警戒レベルに合わせてしっかりと行動しましょう。

警戒レベル※1	住民の避難行動	避難情報等	防災気象情報(例)※2 (警戒レベル相当情報)
5	命を守るための最善の行動をとりましょう。 すでに災害が発生している状況です。	災害発生情報等	大雨特別警報(土砂災害)等
4	全員避難してください。 避難所へ避難しましょう。	避難指示(緊急) 避難勧告	記録的短時間大雨情報等 土砂災害警戒情報等
3	高齢者等は避難しましょう。 他の住民のみなさんは、避難の準備をしましょう。	避難準備・高齢者等避難開始	大雨警報(土砂災害)等
2	ハザードマップ等で避難行動の確認をしましょう。	大雨注意報、洪水注意報等	※上記の相当情報は、住民のみなさんが自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報(警報級の可能性)	

- ※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発令されるとは限りません。状況が急変することもあります。
- ※2 市は様々な情報をもとに避難情報を発令する判断を行うことから、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が同時に発令されるわけではありません。

●浸水被害への対策

排水を控える

大雨時には家庭からの排水は控えましょう。一軒一軒の家の排水が集まれば、相当な水量になります。

水防の準備

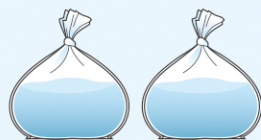
土のうや簡易水のうなどを用いて、家への浸水を防止しましょう。

家庭での簡易水防工法例

小規模水災で水深の浅い初期の段階で行えるものとして、簡易な土のうや水のうを置いて浸水を防止する方法があります。

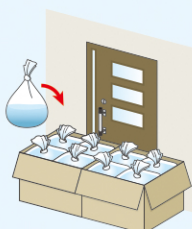
■簡易水のうの作り方

45リットル程度のゴミ袋を二重にし、中に半分程度水を入れます。(持ち運べる重さにする)



■簡易水のうの利用方法

隙間なく並べて浸水を防ぎます。段ボール箱に入ると持ち運びにも便利です。



※この防災ガイドブック(ハザードマップ)では、災害が発生してからの浸水継続時間は概ね3日以内を想定していますが、市より避難勧告解除が発令されるまでは避難所に留まるようお願いします。

●河川の水位に注意しよう

河川の水位が上がると、災害発生リスクが大きくなっていきます。河川水位は「**納内**」「**多度志**」などの水位観測所の数値を基準として、それぞれの災害情報が発表されます。大雨の時にはホームページなどから情報をチェックしましょう。→裏表紙「情報の入手先」を確認

河川上流域の状況によっては、雨がやんでいても洪水が発生する恐れがあります。また、雪どけが急に進んだ場合も同様です。



広域避難(水平避難)

警戒レベル3
警戒レベル4

早めに避難所や遠方の安全な施設などに避難

水平移動



指定された避難所や、親戚・知人宅などの安全な場所へ避難する方法で、早めの対応が重要です。遠方で早めの避難の場合は車を使っても可能ですが、運転には十分注意しましょう。また、避難勧告が出てからの避難については、なるべく車は使用しないようにしましょう。

緊急避難(垂直避難)

警戒レベル5

最寄りの安全な高い建築物や、
自宅の2階などに緊急的に避難



垂直移動

避難時にすでに浸水が始まっていたり、夜間で安全に広域避難が難しい場合は、無理に広域避難(水平避難)をせず、高い建物の上階か、自宅の2階に緊急的に避難しましょう。自分や大切な人の命を守る為の最善の方法をとりましょう。

●避難の心得

気象情報や災害情報をこまめにチェックし、できれば早めに避難の判断をしましょう。なるべく夜間の避難は避け、昼間のうちに避難するようにしましょう。また避難時は慌てず、近所の方にも声をかけて複数人で避難しましょう。

1 避難する前に



避難する前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とし火事などの二次被害を防ぎましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。

2 呼びかけに注意



窓を少し開けるなどして、役所、消防署、警察署からの避難の呼びかけに注意しましょう。

3 避難場所を確認



避難する前に、避難場所を確認し、万一途中で家族が離ればなれになったときの集合同所も決めておきましょう。

4 避難の勧告・指示



避難の勧告・指示は危険が迫ったときにされますので、すみやかに避難しましょう。浸水の起きる前に避難することが大切です。

5 安全な避難



浸水があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。また、がけ地などでは、土砂災害のおそれがあるので注意しましょう。

6 車が浸水したらすぐ外へ!



水深が約30cm前後に達すると、車のエンジンが停止する可能性があり、水深と流速が増すと車ごと流される危険性もあります。車が浸水した場合は、すぐに外に出ましょう。

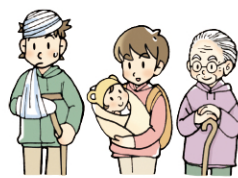
●避難方法

2人以上で避難



できるだけ1人の避難は避けましょう。また、子どもからは目を離さないようにしましょう。

助け合って避難を



子どもや高齢者、病気の人などは避難に時間がかかるので、早めに避難させましょう。また、近所の人の場合も積極的に協力しましょう。

避難は徒歩で



車での避難は、緊急車両通行の妨げや交通渋滞を招くほか、浸水により動けなくなるおそれもあります。避難指示が出てからは使用しないようにしましょう。



**浸水時の
歩行に
注意!!!!**

浸水した場合、水の流れがなくても歩ける深さの目安は、ひざ下(約30cm)くらいまでです。水の深さが腰まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。

●非常時の持出品・備蓄品

いざという時のために下記リストを参考に準備しましょう。また、備蓄品の飲食物は保存期限に注意しましょう。

非常時の持出品(すぐに持ち出せるように、リュックなどにまとめておきましょう。)

- 貴重品
 - ☐ 現金 ☐ キャッシュカード ☐ 預金通帳 ☐ 印鑑
 - ☐ 免許証 ☐ 健康保険証
- 非常食
 - ☐ 飲料水(ペットボトル) ☐ 栄養補助食品 ☐ 菓子類
- 応急医薬品
 - ☐ 常備薬(風邪薬・傷薬など) ☐ 持病薬 ☐ お薬手帳
 - ☐ ばんそうこう ☐ 消毒液 ☐ マスク
- 生活用品
 - ☐ 衣類 ☐ 防寒着 ☐ 雨具 ☐ タオル ☐ ティッシュ(ウェット)
 - ☐ 運動靴 ☐ 軍手 ☐ 帽子又は防災ずきん ☐ ライター
 - ☐ ビニール袋 ☐ 生理用品 ☐ ホイッスル ☐ ラップフィルム
- その他
 - ☐ 携帯ラジオ ☐ 携帯電話 ☐ 充電器 ☐ 懐中電灯
 - ☐ 電池 ☐ 筆記用具 ☐ メガネ ☐ 思い出の品



備蓄品(最低3日分の準備をしておきましょう。できれば、7日分の備蓄を心がけましょう。)

- 食料・飲料水
 - ☐ 飲料水(1人1日3リットル) ☐ 缶詰やレトルト食品
 - ☐ 栄養補助食品 ☐ インスタント食品
- 燃料など
 - ☐ 卓上コンロ ☐ ガスボンベ ☐ 固形燃料
- 生活用品
 - ☐ 毛布 ☐ 寝袋 ☐ 洗面用具 ☐ 鍋 ☐ やかん
 - ☐ トイレットペーパー ☐ 携帯トイレ ☐ バケツ ☐ 使い捨てカイロ
- その他
 - ☐ ビニールシート ☐ 新聞紙 ☐ ろうそく
 - ☐ ガムテープ ☐ ロープ ☐ ポリタンク



赤ちゃんや介護を必要とするお年寄りなどがいる場合は、次のようなものも必要です。

赤ちゃんがいる場合

- ☐ ミルク、ほ乳びん ☐ 乳幼児用の薬
- ☐ 離乳食、食器 ☐ 母子健康手帳
- ☐ お尻拭き ☐ 消毒剤
- ☐ 帽子、防寒着 ☐ 紙おむつ
- ☐ バスタオル ☐ おんぶひも
- ☐ ガーゼハンカチ ☐ 衣類(着替え)

介護を必要とするお年寄りがいる場合

※介護の状態などに応じて備えてください。

- ☐ おかゆなどの食料品(介護食)
- ☐ 障害者手帳、介護保険証など
- ☐ 紙おむつ ☐ 介護用品、おんぶひも
- ☐ 帽子、防寒着 ☐ お尻拭き
- ☐ 衣類(着替え) ☐ 常備薬



避難所・避難場所一覧



指定避難所

災害によって自宅で生活できない方が、一定期間の避難生活を行う施設。

●深川地区

番号	施設名	所在地	避難対象町内会	電話番号	
①	菊水コミュニティセンター	メム6号線本通り	南区、南菊水	22-3056	 
②	拓殖大学北海道短期大学	メム10号線山1線	北菊水、巴、北区、錦町、東町、新光町	23-4111	 
③	深川中学校	文光町13番3号	文光町、開西町、共栄、芽生	23-3574	 
④	文西コミュニティセンター	文光町16番37号	(予備)	22-5090	
⑤	深川西高等学校	西町7番31号	西町第一、西町第三	23-2263	 
⑥	生きがい文化センター	西町3番15号	北仲1・2丁目、3丁目、4丁目	22-3555	 
⑦	深川小学校	西町23番18号	西町第二、緑町東、緑町西、南1・2丁目	23-4195	 
⑧	文化交流ホール み・らい	5条7番20号	南5丁目、北5丁目、6・7丁目、北6・7丁目、 本8・9丁目、花園、丸の内、旭町	23-0320	 
⑨	経済センター	1条9番19号	駅前、仲の町、北日の出、南日の出、大町、東大町	22-3146	 
⑩	深川東高等学校	8条5番10号	(予備)	23-3561	 
⑪	三和コミュニティセンター	新光町3丁目4番1号	(予備)	23-4611	 
③⑥	深川市立高等看護学院	6条8番6号	南5丁目、北5丁目、6・7丁目、北6・7丁目、 本8・9丁目、花園、丸の内、旭町	22-8858	
番号	施設名	所在地			
ア	温水プール ア・エール駐車場	1条9番25号			
イ	西町児童公園	西町14番			
ウ	緑町公園	緑町2番			
エ	文光町北公園	文光町4番			
オ	文光町南公園	文光町21番			
カ	開西町西公園	開西町2丁目5番			
キ	開西町東公園	開西町2丁目7番			
ク	大正緑道	(市街地内の各公園施設を連絡循環する緑道 全長約6.5キロメートル)			
番号	施設名	所在地	電話番号		
a	ケアハウスアニスティ深川	2条4番3号	26-0051		
b	特別養護老人ホーム永福園	西町1番13号	22-4401		

●納内地区

番号	施設名	所在地	避難対象町内会	電話番号	
22	納内時計台プラザ	納内町3丁目1番1号	1区、2区、3区、10区の4、時計台、12区	24-2111	
23	納内小学校	納内町2丁目13番11号	4区、5区、6区の1、6区の2、7区、グリーンタウン、8区の1、8区の2、8区の3、9区、10区の1、10区の3	24-2602	 
番号	施設名		所在地	電話番号	
g	障がい者支援施設あかとき学園		納内町3丁目9番10号	24-3666	
h	特別養護老人ホーム清祥園		納内町北3番97号	24-3911	

●多度志地区

番号	施設名	所在地	避難対象町内会	電話番号	
33	多度志小学校	多度志 1160 番地	多度志、中央、弥栄、川向、上多度志、湯内、北多度志、中多度志	27-2005	 
34	幌成コミュニティセンター	幌内 160 番地	宇摩、ウッカ、幌成、幌内	28-2251	 
35	リフレッシュプラザ鷹泊	鷹泊 530 番地	鷹泊	28-2008	 
番号	施設名		所在地	電話番号	
j	生活支援ハウスしらゆりの里		多度志 1188 番地	27-2222	

*自分たちの所属する町内会の避難所を確認し、表紙の欄に書き込みましょう。

*避難の際は、市からの避難所開設の情報を市ホームページやエリアメールなどで確認してから避難しましょう。

はじめに

風水害

避難の心得

持出・備蓄品

市街地拡大図

避難所等

土砂災害

地震

雪害



指定緊急避難場所 災害時の危険を回避するために、
一時避難場所 一時的に避難する場所。



福祉避難所

介護が必要な方、障がいがある方など、日常生活が困難な方で、災害時要援護者避難支援（見守り）プランに登録している方が避難する施設。

〇一已地区

番号	施設名	所在地	避難対象町内会	電話番号	
12	一已小学校	稲穂町2丁目1番9号	新五月、第2堺町、第3堺町、共進	23-4294	 
13	一已公民館	稲穂町1丁目5番6号	太子町、新町	22-2021	
14	一已中学校	稲穂町1丁目8番3号	第1堺町、第1稲穂、稲穂、昇保、大師、鉄道	22-3341	 
15	総合福祉センター	3条18番36号	幸町	26-2411	 
16	総合体育館	6条21番1号	二十四孝、旭区、末広町	22-1144	 
17	北新小学校	一已町西日向	常盤、西日向、一北星、二北星、三北星、西北星、新星、中の沢、西共成	23-3480	 
18	あけぼのコミュニティセンター	あけぼの町9番22号	あけぼの町	22-3059	 
19	拓殖大学北海道研修所（旧深川農業高等学校）	一已町桜町	東日向、桜町、桜坂、豊泉	22-7330	 
20	新岩山会館	一已町新岩山	新岩山、東岩山、出雲	－	 
21	入志別コミュニティセンター	一已町東一区	東入志別、西入志別、東水源、南水源、北水源、石狩	22-3048	 
番号	施設名	所在地			
ク	大正緑道	（市街地内の各公園施設を連絡循環する緑道 全長約 6.5 キロメートル）			
ケ	子育て支援センター（新中央保育園2階）	深川市6条11番1号			
コ	稲穂エステートタウン内公園	稲穂町2丁目4番			
サ	新五月児童公園	北光町2丁目2番			
シ	あけぼの児童公園	あけぼの町3番			
ス	深川農村公園	一已町字一已2400番地1			
セ	北新公民館駐車場他	一已町字一已1935番地1			
番号	施設名	所在地	電話番号		
c	ケアハウスえんれい草	4条12番6号	26-1165		
d	グループホーム忘れな草	4条12番7号	26-2611		
e	軽費老人ホームひいらぎ荘	北光町2丁目10番18号	22-5680		
f	介護老人保健施設エーデルワイス	北光町2丁目10番22号	23-5110		

〇音江地区

番号	施設名	所在地	避難対象町内会	電話番号	
24	内園コミュニティセンター	音江町字内園 641 番地	内園第 1、内園第 2	24-2740	 
25	吉住・更進コミュニティセンター	音江町字吉住 15 番地 2	吉住、更進第 1、更進第 2	29-2303	 
26	菊丘コミュニティセンター	音江町字菊丘 344 番地	菊丘	29-2353	 
27	音江広里交流館 エフパシオ (旧音江中学校)	音江町字広里 246 番地 1	広里第 2、広里第 3 A、広里第 3 B、広里第 4 A、広里第 4 B、 広里第 4 C、広里第 5 A、	34-6150	 
28	音江小学校	音江町 2 丁目 4 番 1 号	広里第 1、広里第 5 B、音江第 4	25-1421	 
29	音江公民館	音江町 2 丁目 6 番 50 号	音江第 1、音江第 3 A、音江第 3 B	25-2003	 
30	豊泉コミュニティセンター	音江町字広里 1079 番地	豊泉第 1、豊泉第 2、豊泉第 3 A、豊泉第 3 B	25-1440	 
31	ほっと館ふぁーむ	音江町字向陽 100 番地 1	向陽第 1、向陽第 3、向陽第 4	25-2734	 
32	稲田コミュニティセンター	音江町字稲田 1764 番地 2	稲田	25-1743	 
番号	施設名		所在地		
ソ	緑が丘団地内公園		音江町 1 丁目 5 番		
番号	施設名	所在地	電話番号		
i	介護付有料老人ホームこんにちわ金さん銀さん	音江町 1 丁目 3 番 13 号	25-1234		

*各地区は施設の所在地で地区を区分しています。

はじめに

風水害

避難の心得

持出・備蓄品

市街地拡大図

避難所等

土砂災害

地震

雪害

土砂災害への備え

●風水害と合わせて警戒する

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。

1時間に20mm以上、または降り始めから100mm以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

●こんな前ぶれ現象に注意！

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。

直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。



- ▶ 山鳴りがする、泥くさい臭いがする



- ▶ 雨が降り続けているのに川の水位が下がる



- ▶ 地面にひび割れができる



- ▶ 川の流れが濁り流木が混ざりはじめる



- ▶ 小石がパラパラ落ちてくる



- ▶ 斜面から水がふき出す

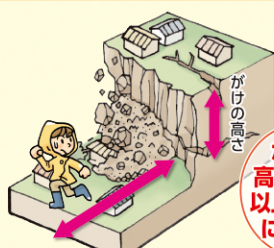
逃げ方を覚えましょう



土石流は速度が速いため、流れを背にしていたのでは追いつかれてしまいます。
土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



がけ崩れは一瞬で起こるため、早期避難の判断が重要です。
緊急時には、**がけの高さの2倍以上の距離に逃げたり**、室内の安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。



地震への備え

●身のまわりの地震対策

わが家の耐震診断



家の間取りから、水まわり、ガスの位置、電気のブレーカー、家具の配置状況を把握しましょう。家具の耐震診断は専門家に相談し、補強等を実施しましょう。

ブロック塀の点検



ひび割れや壊れているところはないか、特に通学路、避難路に面している所はしっかり補強しましょう。

家具の転倒防止



寝室、居間、乳幼児のいる部屋にはできるだけ家具は置かないようにし、家具や屋外のガスボンベは、壁などにしっかり固定しましょう。

高い所に重たい物を置かない

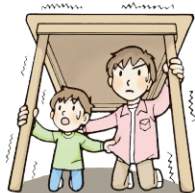


地震時の落下によるケガの原因になるので、家具の上にテレビなどの重い物を置かないようにしましょう。

●地震が起きたら…

パニック状態になった時、とっさの判断は難しいものです。次の事を参考に避難を心がけてください。

①まず、身を守る



机の下などにもぐり、身を守りましょう。

②火の始末



揺れがおさまったら、コンロ・ストーブなどの火を消しましょう。火が出ても落ち着いて消火しましょう。

③出口を確保



家が傾いてドアが開かなくならないように、すばやく窓や扉を開けましょう。

④わが家の安全確認



火災、家屋倒壊の危険やガス爆発など、二次災害の兆候はないか確認しましょう。

危険なら…

急いで避難所へ!!

- ▶ 動きやすい服、ヘルメットを着用し、底の厚い靴を履く。
- ▶ 家族への連絡メモを残す。
- ▶ ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切る。
- ▶ 火の元の確認と消火を行う。

表紙・わが家の防災メモを確認しましょう!



避難は徒歩で、持ち物は少なく!!

安全なら…

⑤情報確認



近所の人と声をかけ合って安全を確認め、ラジオなどから情報を集めましょう。

はじめに

風水害

避難の心得

持出・備蓄品

市街地拡大図

避難所等

土砂災害

地震

雪害

●暴風雪に備える

！暴風雪時は外出を控えることが重要です

車を運転しているとき

運転中に暴風雪となり視界が悪くなったときは、そのまま運転を続けるのは大変危険です。

- スーパー、コンビニエンスストア、人家などで天気の回復を待ちましょう。
- 気象情報や道路情報を確認しましょう。



車が立ち往生したとき

車が立ち往生したときは、後続車から追突されないように注意してください。

- 吹きだまりで積雪20cm程度でも発進できなくなる場合があります。
- ハザードランプを点滅、停止表示板を置きます。
- JAFなどのロードサービス、警察・消防、近くの人家に救助を依頼しましょう。
- 一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。暖房などでやむを得ずエンジンをかけるときには、マフラー付近の雪を取り除き、埋もれないように注意しましょう。



緊急時の
連絡先
※短縮ダイヤル

道路の異常を発見したら

道路緊急ダイヤル #9910

車の故障・レッカー移動

JAFロードサービス #8139

やむを得ず車で外出するときには

天気の急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。



家の中にいるとき

停電が発生し、暖房機具が使えないことがありますので、停電時にも使用できる暖房機を用意しておきましょう。

FF式暖房機などの給排気口が吹きだまりでふさがれると一酸化炭素中毒を起こす可能性があります。

- 給排気口がふさがれていないか確認しましょう。
- 出入り口を確保するため、吹きだまりの状況を見て除雪しましょう。



●除雪中の事故防止

- 除雪作業は2人以上で行い、携帯電話を携帯しましょう。
- 屋根など高所での雪下ろしの時には、必ず命綱を使用しましょう。
- はしごの固定を忘れずに。
- 晴天時など気温の高い日は、雪が緩むため注意しましょう。
- 除雪機の雪詰まりを直すときは、必ずエンジンを切ってから行いましょう。



●ハザードマップの見方

凡 例

	土砂災害警戒区域(土 石 流)
	// (急 傾 斜)
	// (地すべり)
	山 腹 崩 壊 危 険 地 区
	崩壊土砂流出危険地区(国有林)
	崩壊土砂流出危険地区(道有林・民有林)
	避難時において注意を要する箇所 (主要な橋・アンダーパス)
	指 定 避 難 所
	指 定 緊 急 避 難 場 所
	一 時 避 難 場 所
	福 祉 避 難 所
	水 位 観 測 所
	高 速・高 規 格 道 路
	国 道・道 道
	市 町 界
	町 内 会 区 界

土石流が流れ込んでくる危険性があり、家屋などに被害をもたらす可能性があります。

がけ崩れや地すべりを起こす危険性があり、家屋などに被害をもたらす可能性があります。

山地から発生する山腹の崩壊などによって、家屋などに被害をもたらす可能性があります。

山腹崩壊や地すべりによって発生した土砂が土石流となって流出し、家屋などに被害をもたらす可能性があります。

避難をする際に、河川の氾濫や冠水により通行不可能となる恐れがあります。

P9-10を参照してください。

河川の増水・減水状況を収集・伝達する施設で、避難情報発令の基準になります。(P4参照)

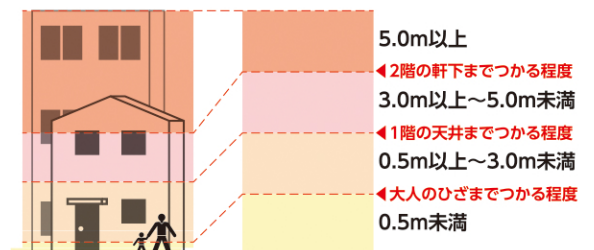
町内会の区域を示しています。

1 辺が 1km なので、
おおむねの距離が分かります。

各河川周辺に 4 段階で着色
された箇所が、堤防が決壊し
た場合の浸水予想結果に基づ
いた、浸水範囲とその深さを
示しています。

浸水時の高さの目安にしてく
ださい。

浸水深と浸水の目安



避難所の種別と位置を示して
います。

災害の危険予想範囲や箇所を
示しています。

情報の入手先

●防災・気象情報はこちら

 気象情報	気象庁	 https://www.jma.go.jp	
 河川情報	国土交通省 「川の防災情報」 (水位・雨量情報等)	 https://www.river.go.jp	
 道路情報	北海道開発局 「北海道地区道路情報」	 https://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/RoadInfo/index.htm	
 防災情報	北海道防災情報 (警報・注意報、地震、洪水、土砂災害情報等)	 https://www.bousai-hokkaido.jp	
 深川市 ホームページ	深川市	 https://www.city.fukagawa.lg.jp	

テレビで気象情報・河川情報の確認を!



リモコンのdボタンを押すことで、気象情報や河川情報など防災に役立つ身近な情報を見ることができます。

Yahoo!防災速報アプリ

災害が起こる前に、地震・豪雨・津波などの情報をプッシュ通知でお知らせするYahoo!の公式アプリです。



for iPhone/iPad



for Android

NHK ニュース・防災アプリ

最新ニュースや災害情報をお届けするNHK公式のアプリです。マップ上で雨雲や台風、河川情報をチェックでき、ライブ放送の同時提供もあります。



for iPhone/iPad



for Android

●災害用伝言サービス

安否情報などを家族や知人に知らせる方法を家族で確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル

171



大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にするNTTボイスメールサービスです。

「171」にダイヤルし、音声ガイダンスに従い伝言の録音や再生を行います。なお、災害用伝言ダイヤルの提供開始はNTTが決定し、テレビやラジオでお知らせします。



※詳しい内容はNTTのホームページで確認して下さい。ホームページ <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/>



深川産米キャラクター
こめっちゃん

お問い合わせ

深川市役所

総務課自治防災室

〒074-8650 北海道深川市2条17番17号
電話 0164-26-2215 FAX 0164-22-8134
メールアドレス jichibo@city.fukagawa.lg.jp



この防災ガイドブック(ハザードマップ)は、公益財団法人北海道市町村振興協会(サマーチャンボくじの収益金)の助成を受けて作成しています。